

2026年4月15日
株式会社SVPジャパン

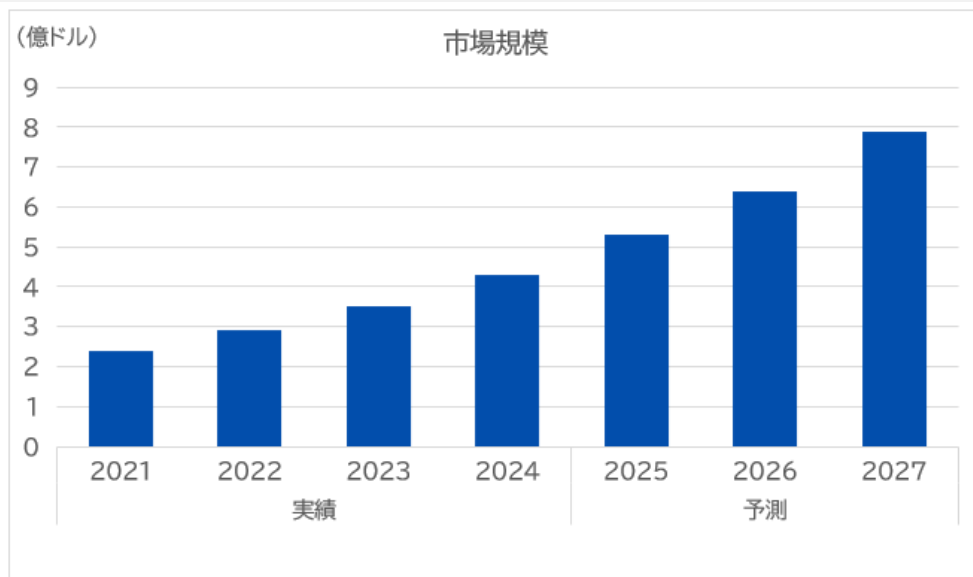
SVP注目市場分析 「NPU」を公開

～デバイス内でのAI処理実現するための基盤プロセッサに進化～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「NPU-世界市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

■ NPUの世界市場



NPU（Neural Processing Unit）とは、AIの推論処理を高速かつ低消費電力で実行する専用計算基盤を提供する半導体および関連アクセラレーターであり、市場はスマートフォンやPC、車載、IoT機器などに組み込まれる形で拡大している。同市場は単体での統計把握が困難である一方、AIアクセラレーター市場を基準とした推計により急成長が確認されており、エッジAIシフトの進展を背景に極めて注目度が高い。その成長要因としては、クラウド依存からの脱却、低レイテンシー要求の高まり、プライバシー保護ニーズの増大に加え、AI PCやオンデバイスAIの普及に伴う計算需要の急拡大が挙げられる。特にスマートフォンやAI PC向けのSoC内蔵NPU、ならびに自動車・産業用途におけるエッジAIアクセラレーター領域は、今後の市場拡大を牽引する有望分野である。

■ NPUの市場概況

NPU市場は、設計・製造・ソフトウェアまでを含む多層的なバリューチェーン構造を持ち、特にIP設計力と最先端ファウンドリーへのアクセスを握る企業が競争優位を確立する構造となっている。NPU機能自体はSoC統合の進展によりコモディティー化の兆候を見せる一方、先端製造プロセスやパッケージ技術は一部企業への集中が進み、「機能は汎用化、製造は寡占化」という非対称な競争環境が形成されている。また、ソフトウェア標準化の遅れや開発環境の分断、電力効率と性能のトレードオフ、サプライチェーンおよび地政学リスクなどが市場拡大の制約要因として存在する。加えて、日本市場においてはロボット・自動車・産業機器といった強みを背景に、エッジAIとNPUの親和性が高く、オンデバイス処理を軸とした独自の成長機会が期待される。



■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造
- VII. 課題
- VIII. 日本市場の動向



←レポート全編を見る クリック

※本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購読いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ



■ 次回のテーマ

5月のテーマは「MI（マテリアルズ・インフォマティクス）」と「メタバース・産業デジタルツイン」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com